

# 総がかり行動実行委員会 全国交流会への問題提起

2020. 12. 22

# 集会の開催目的

○ 総がかり行動実行委員会の結成（2014.12.15）から6年

→ 衆参両院で与党・改憲派が3分の2議席超の国会状況のもとでも、安倍9条改憲を阻止し、退陣に

\* この**到達点を作りだしたたたかい**をふり返り

→ 安倍政治を継承する菅内閣にかわる市民と野党の共闘で政権交代を

\* そのための**たたかいの方向**を論議

# 6年間のたたかいの経過

○ 戦争する国に暴走する安倍政権への危機感を共有

→ 戦争する国づくりをくい止め憲法理念を実現するために大同団結

\* 最初の大規模な共同行動を  
横浜・臨港パークで開催  
(2015.5.3)



# 6年間のたたかいの経過

- 連続した国会前行動を、学者の会、シールズなどとも連携して実施
- 1万人以上集会は12回、延べ43万人が参加
- 「野党は共闘」の声に押されて院内共闘も前進



# 6年間のたたかいの経過

- 「戦争法反対」から「戦争法廃止」の運動へ
  - 「戦争法廃止2000万人署名」を開始（2016年6月末までに1580万人分を集約）
  - 2015年12月、市民連合を結成



# 6年間のたたかいの経過

○ 2016年参議院選挙にむけ、32の一人区で市民と野党の共闘が成立し、11選挙区で勝利

→ 野党共闘を押し上げた市民連合の政策合意



# 6年間のたたかいの経過

○ 9条加憲、2020年改憲施行を表明（2017年5月3日、安倍首相）

→ 総がかりをこえる総がかり = 市民アクションを結成し、3000万人署名を開始（2020年秋の臨時国会までに10,148,936人分を国会に提出）

**\* 7割「9条改正すべきでない」**

**内閣支持でも57%が反対**

**—時事世論調査(2020年6月22日) 「**

# 6年間のたたかいの経過

○ 増える課題、広がる共闘

→ 辺野古新基地建設反対(国会包囲実行委員会)

共謀罪反対・廃止（共謀罪NO実行委員会）

「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を！」市民連帯行動実行委員会の結成

→ 森友、加計学園疑惑、桜を見る会疑惑追及、黒川検事長定年延長撤回、日本学術会議会員任命拒否撤回要求など

# 6年間のたたかいの経過

○ 「戦争法廃止、立憲主義回復」の共闘を守りぬいた2017年総選挙

→ 市民連合は「安保法制（戦争法）を肯定する政党との共闘はありえません」との立場を鮮明し、7項目の政策要望を、立憲民主党、共産党、社民党と合意



# 6年間のたたかいの経過

- 2020年を改憲阻止の正念場の年と位置づけ、「改憲発議反対の緊急署名」を2019年秋に提起（2020年秋の臨時国会までに1,128,430人分を国会に提出）
  - ← 2019年7月参議院選挙を三度、市民と野党の共闘でたたかい10選挙区で勝利・・・自公を3分の2割れに
  - 改憲発議が困難な国会状況、迷走し混乱するコロナ対策への批判の前に、安倍政権が退陣（2020年9月）

# 安倍改憲とのたたかいは終わっていない

－ 安倍以上に危険な菅内閣の打倒を －

- コロナ危機が深刻化するもとでも、新自由主義路線を再加速
- 敵基地攻撃能力保有など実質改憲の積み上げと自民党改憲4項目での改憲発議狙い
- 日本学術会議会員任命拒否、デジタル庁設置など政府による市民的権利の侵害

→ 新自由主義をのりこえるためにも憲法をいかす取り組みが重要に・・・市民連合「政策要望」の意義

# 当面の取り組み

- 9条改憲発議阻止署名を軸に、改憲阻止の取り組みを継続
- 菅内閣の悪政、市民的自由の侵害を許さず、政治を変えて立憲主義、個人の尊厳を実現する政権に
- 辺野古基地建設反対など、戦争する国づくりに反対するたたかいの全国での強化
- 市民と野党の共闘の前進で菅自公政権に変わる新しい政権の実現を
- 19日行動、5.3憲法集会などを全国で総がかりの取り組みに

**力をあわせ改憲発議を阻止し、  
戦争法廃止、新自由主義をのりこえ  
る支え合う社会をめざしましょう**